

オーケストラ作品発表会

「芸術音楽コース」「映画・放送音楽コース」 「コンポーザー＝ピアニストコース」による

2020年1月9日 池袋キャンパス 100周年記念ホール



東京音楽大学には作曲を学べるさまざまなコースがあり、それぞれ専門性を究めています。今回の演奏会は学生の自発的な企画によるもので、作曲指揮専攻にある「芸術音楽コース」と「映画・放送音楽コース」、器楽専攻にある「コンポーザー＝ピアニストコース」の3つのコースから8名の学生の作品を発表しました。個性豊かな作品を、学生有志の111（トリプルワン）オーケストラ*が演奏。曲間には、作編曲した学生が登壇して作品に込めた思いや、生のオーケストラで演奏されることへのわくわく感、学校の仲間たちに支えられて作品を演奏してもらえる機会に恵まれたことへの感謝と喜びを語りました。

*111（トリプルワン）オーケストラは、本学創立から111周年目にあたる昨年に結成された学生の有志オーケストラです。

【プログラム】

Sonorus

Prélude (C. Debussy Suite bergamasque)

CLAIR DE LUNE (C. Debussy Suite bergamasque)

Deux Arabesques 1 (C. Debussy)

Polaris

黙示録～7つのラッパの裁き～

Piano Concerto 「Crooked Face」

Viola Concerto

佐藤奈都（芸術音楽コース3年）

中町友洋 編曲（映画・放送音楽コース3年）

澤田佳歩 編曲（映画・放送音楽コース3年）

中井伶香 編曲（映画・放送音楽コース3年）

横内日菜子（映画・放送音楽コース3年）

赤澤凜太郎（芸術音楽コース4年）

湧上哉樹（コンポーザー＝ピアニストコース4年）

後藤沙希乃（映画・放送音楽コース3年）



(終演後、全員で仲良く)

(前列中央に粧場富美子先生の姿も)



(コンポーザー＝ピアニストコース 4 年 湧上哉樹さん
15 分に及ぶピアノコンチェルトを作曲・演奏)



(111 オーケストラの発起人兼指揮の 3 年 岡本陸さん)

(広報課)